

1. 調査の目的

ウェットランド (WL) の生物調査の一環として、「知和沼沢地」における地上徘徊性昆虫類の生息状況を継続的に調べています。地上徘徊性昆虫とは、ゴミムシの仲間のように地表を歩いて行動する昆虫のことです。

2. 調査の実施状況

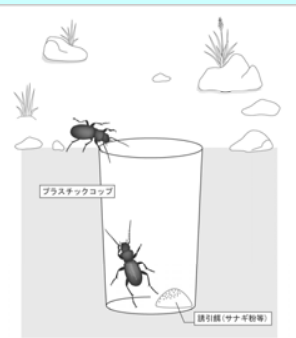
(1) 調査の実施日

今年度の調査は、活動時期を踏まえ、年3回の実施予定です。春季調査を平成21年6月4、5日に実施しましたので、結果を報告します。

調査時期	月 日
春季	平成21年6月4~5日
夏季	平成21年8月 実施予定
秋季	平成21年9月 実施予定
平成22年(春・夏・秋) 実施予定	

(2) 調査の方法

調査は、WL 内の知和沼沢地にバイトトラップを設置し、採集された地上徘徊性昆虫類の種類と個体数を調べました。バイトトラップとは、プラスチックのコップにサナギ粉等の餌をいれ、それを地面に埋めて、餌に引き寄せられコップの中に落ちた昆虫を採集する方法です。



バイトトラップにより採集された、ミイデラゴミムシ。

バイトトラップ設置状況

3. 調査結果

今回の調査では、合計2科6種類41個体の地上徘徊性昆虫類を採集しました。最も多く採集できたのはアオゴミムシで、2番目に多く採集できたのはミイデラゴミムシでした。また今回、過年度調査では採集していないアシミソナガゴミムシを新たに採集しました。その他に、キボシアオゴミムシ、キンナガゴミムシ、ヒメクロツヤヒラタゴミムシを採集しました。

春季にウェットランド内の知和沼沢地で確認された地上徘徊性昆虫類



文献：1) 原色日本甲虫図鑑Ⅱ(1994、保育者)、2) 川の生物図鑑(1996、山海堂)、3) 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006(2006、神奈川県立生命の星・地球博物館) 4) 昆虫エクスポラ (http://www.insects.jp/index.html)、5) http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/isikari_fc/gyomu/pdf/H18monitoringu-kekka.pdf 6) 環境指標としてのゴミムシ類(甲虫目:オサムシ科、ホソクビゴミムシ科)に関する生態学的研究(1996、比和科学博物館研究報告 第34号)